

平成24年の救急出動件数等（速報）について

救急企画室

1 救急出動件数及び搬送人員について（表1及び表2）

平成24年中の救急出動件数は、前年と比べ9万4,384件増加し、580万2,039件となり、過去最多の出動件数でした。前年比1.7%の増加率で、4年連続の増加となりました。

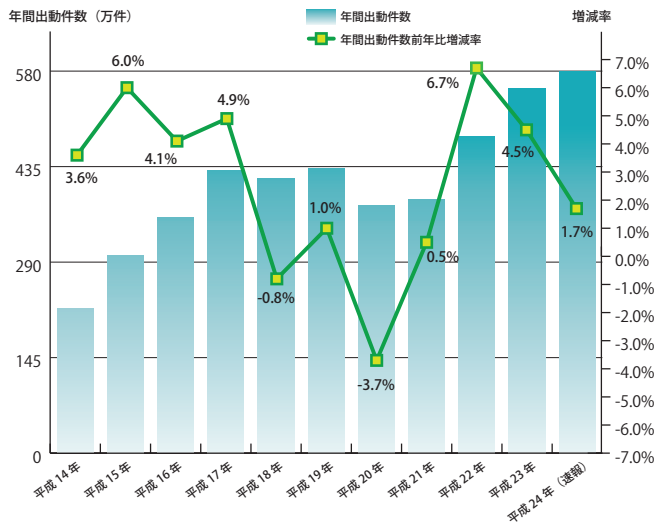


表1 救急出動件数及び救急出動件数前年比増減率の推移

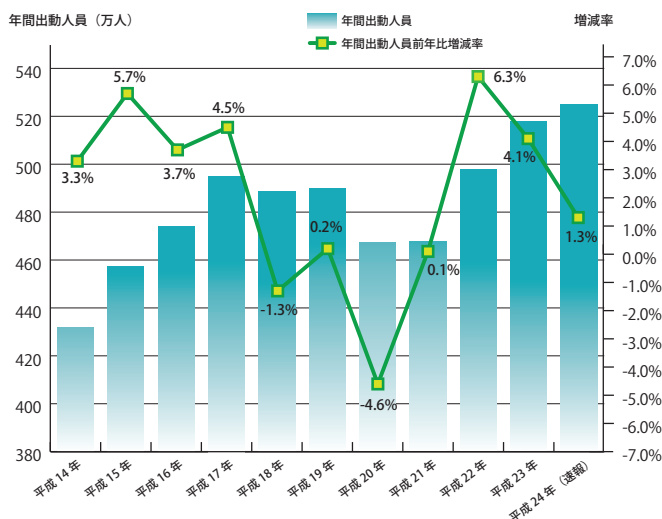


表2 搬送人員及び搬送人員前年比増減率の推移

全国の790消防本部のうち、出動件数が増加した消防本部は521本部（66.0%）、減少した消防本部は268本部（33.9%）、増減がなかった消防本部は1本部（0.1%）でした。

また、搬送人員についても、前年と比べ6万6,359人増加し、524万9,088人となり、過去最多の搬送人員でした。

2 増加の要因について（表3）

出動件数が増加した521の消防本部に要因と思われる事由を質問したところ（複数回答）、「急病の傷病者の増加」が369本部（70.8%）、「高齢の傷病者の増加」が348本部（66.8%）、「一般負傷の増加」が206本部（39.5%）、「転院搬送の増加」が201本部（38.6%）等となっています。

3 今後の対応

消防庁としては、救急出動件数及び搬送人員の増加の要因分析及び将来予測を行い、今後の救急需要に対する方策の検討や、限られた救急医療資源を有効活用し、緊急性の高い傷病者を優先して救急医療を提供する体制の構築等も視野に入れ対応します。

出動件数全体が「増加」した要因と思われる項目	解答欄合計 (A)	(A) / 本部
①高齢の傷病者の増加	348	66.8%
②急病の傷病者の増加	369	70.8%
③不適正利用者の増加		
明らかに交通手段がないため要請する傷病者の増加	44	8.4%
明らかに軽症であると思われる傷病者の増加	112	21.5%
④転院搬送の増加	201	38.6%
⑤一般負傷の増加	206	39.5%
⑥その他	96	18.4%
⑦不明	16	3.1%
⑧無回答	6	1.2%

表3 救急出動件数が増加した要因（複数回答）

問い合わせ先

消防庁救急企画室 伊藤、菅原
TEL: 03-5253-7529